

# フラッグアート



2009年～2020年 フラッグアートの歩みと地域交流

## フラッグアートって何？

フラッグアートは、玉川大学芸術学部の三井教授から教えてもらいました。

- \*製作は、抽象的なテーマで個人の自由な表現で作る芸術作品。
- \*展示は、公共のスペースの人目につく高い所。
- \*目的は、人々が暮らす町や自然の中に溶け込んで、新しい風景を作り出し、人の心を楽しませること。



## 地域コミュニティ活動です

フラッグアート活動は、玉川学園町内会・南大谷町内会・玉川学園商店会・玉川学園南口商店会の資金協賛のもと、フラッグアート実行委員会が運営・管理を行っています。

フラッグアート活動は、この地域の方々が支える「地域コミュニティ活動」になっています。



## フラッグアートのあゆみ

2009年の玉川学園の街80周年の際に、「子どもたちにフラッグアートを作ってもらい、街に飾ってみんなで楽しもう」との発想で、玉川大学の美術指導のもと、南大谷中学校の美術授業で制作が始まりました。その後、町田第五小学校と南大谷小学校でも作るようになりました。

2014年からは夏休みに玉川大学でのフラッグアート教室も始まり、駅前商店街や恩田川遊歩道に展示されたフラッグアートは街の風物詩になってきています。



## まちだ〇ごと大作戦を活用した

### フラッグアート活動のPR

フラッグアート活動が10年経過したのを一つの節目として、これまでのノウハウをまとめたガイドブック作成を計画し、まちだ〇ごと大作戦の決定を受けました。2020年から2021年にかけて、2ヶ国語表記のガイドブックを作成し、地域内外に配布してフラッグアート活動を広くPRします。

<お問い合わせ先>

玉川学園・南大谷地域  
フラッグアート実行委員会  
代表 前野 紀夫